

第3学年1組 学級活動(1)指導案

令和3年10月6日(水)第3校時

児童数 男子14名 女子13名 計27名

東松山市立松山第一小学校

指導者 教諭 久保充弘

活動場所 教室

1 議題 「一人一人がかがやくクラスオリンピックをしよう」(ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決)

2 議題について

(1)児童の実態

本学級の児童は、明るく素直な児童が多い。交友関係も男女ともに仲がよい。大きなトラブルもないが、一方で特定の集団で過ごしたり、一人で過ごしたりしている児童が多い。

学級活動(1)は年度当初、学級会オリエンテーションとして「フルーツバスケット」をしながら学級会の意義について理解を深めた。その後、5回にわたって学級活動を実践してきた。「1学期頑張ったね会をしよう」「特技発表会をしよう」などの議題を経験して、クラスがよりよくなるためにどんなことをしたらいいか考え、実践してきた。

学級会では、自分の意見を、根拠をもって伝えることができる児童がほとんどである。また、より建設的な話し合いを目指して、関連発言ができるよう指導している。また、学級会のあゆみを掲示し、今までの学級会の良い点や改善点を示している。まだ中学年で学級会の経験が乏しく、思いがあってもそれを実現できるアイデアが出てこなかったり、出た意見で決まらなかった意見を生かそうとしたりすることができず、友達の思いをうまく尊重できないことが多い。

(2)議題選定の理由

本議題は後ろに掲示されている議題例を見た児童が提案してきたものである。今年度コロナの影響で運動会が延期となり、延期された運動会も徒競走と表現のみとなり、簡素化された。児童としては2年連続で運動会が簡素化され、期待していた運動会ができず落胆している児童も多い。そこで、今までクラスで行ってきた様々な集会活動の経験を活かし、クラスの中でできる運動会を企画し、工夫を凝らしながら自分たちならではの運動会をして思い出をつくらうという思いから提案されたものである。

他にも「ハロウィンパーティーをしよう」という議題が出されていたが、まだ時期が早いこと、提案理由をもう一度練り直し、何のためにハロウィンパーティーを行うのか考えてから話し合おうと計画委員で意見がまとまり、今回の議題が選定された。

今回のクラスオリンピックを通して、3年1組だからこそこできるオリジナルの競技や工夫について互いの意見を尊重しながら協力して計画を立てて、実践できるようにしていく。そして、準備や当日の実践の中で互いのよさに気付き、自分たちで作上げた学級文化を実感することで、クラスに対する所属感が高まり、自分たちの力でよりよい学級生活をつくっていく自治的能力を育てたい。

3 第3学年及び第4学年の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解し、合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協力して実践している。	学級や学校における人間関係をよりよくし、他者と協働しながら日常生活の向上を図ろうとしている。

4 事前の活動(本時に至るまでの活動の流れ)

日時	活動の主体	活動の内容	○指導上の留意点 ◎目指す児童の姿 ()評価の観点 【 】評価方法
9月27日 (月) 業間休み 帰りの会	計画委員	議題の選定 (提案された議題) ・クラスオリ ンピックを しよう。 ・ハロウィン パーティー をしよう 議題の決定	○各提案の扱いを明らかにし、時期や学級での課題を踏まえ、議題を選定する。 ◎よりよい学級生活をつくるために、進んで議題の選定をしようとしている。(主体的に取り組む態度)【提案カード、観察】 ○帰りの会で提案された議題を発表し、学級全体に提案者の思いが伝わるようにする。
9月28日 (火) 業間休み	計画委員 提案者	役割の決定 提案理由 話合いのめあて 柱の確認	○どの児童にもわかりやすく、納得して話合いができるような提案理由を作成するよう指導、助言する。
10月4日 (月) 朝自習	学級全員	学級会ノートに 自分の考えを記 入	○提案理由や決まっていることをしっかり理解できるように事前に助言する。 ◎クラスオリンピックの目的に合った意見を考え、判断し、ノートに書くことができる。(思考・判断・表現)【学級会ノート】
10月5日 (火) 太陽時間 昼休み	計画委員	意見の整理	○事前に学級会ノートに励ましの言葉を記入し、話合いの意欲を高める。 ○出された意見から話合いの見通しがもてるように助言する。必要に応じて短冊に記入する。 ○背面黒板に柱1で話し合う意見を掲示しておき、質問や不明な点を明らかにして、共通理解を図るようにする。

5 展開

(1)本時のねらい

学級生活をより楽しく豊かなものにするために、友達の立場や思いを尊重しながら、一人一人が活躍し、3年1組らしいオリジナルのオリンピックになるような内容や工夫を考えることができる。

(2)児童の活動計画 別紙参照

(3)本時の指導計画

話合いの順序	○指導上の留意点 ◎目指す児童の像 ()評価の観点 【 】評価方法
1 始めの言葉	
2 計画委員の紹介	○その子なりのめあてが言えるように、事前指導をしておく。
3 議題の確認	
4 提案理由の説明	○提案者の思いや願いを深め、提案の理由が学級全員に伝わるように、紙芝居を用いて説明できるようにする。 ○全員が共通理解できるように、司会者がはっきり発表できるようにする。
5 めあて	○めあてが話合いの指針となるように意識付けを行う。
6 決まっていること の確認	○日時や場所、1つの内容にどれくらい時間があるのかを教師から丁寧に説明する。

<p>7 話し合い</p> <p>【話し合うこと①】 どんな競技をするか</p> <p>【話し合うこと②】 工夫 ・オリンピックらしい ・おうえん</p> <p>【話し合うこと③】 役割分担</p>	<p>○「比べ合う」段階から進められるよう事前に短冊に意見を記入し、意見の内容を共通理解できるようにしていく。</p> <p>○発言者が偏らないよう、できるだけ多くの児童が発言できるよう助言を行う。</p> <p>○理由が言えない児童は、提案理由やめあてに注目させ、それらを基に言えるよう助言する。</p> <p>○自治的活動の範囲を超えそうな場合は、必要に応じて助言する。</p> <p>◎意欲的に自分の意見を考え発言しようとしている。 (主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度)【観察・発言】</p> <p>◎自分のクラスらしい会になるように、友達の意見を参考にしながら、折り合いをつけて意見を出している。 (集団の一員としての話し合い活動や実践活動を通じた思考・判断・表現)【観察・発言】</p> <p>◎合意形成を図るための話し合いの進め方や約束を理解している。(よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能)【観察】</p>
<p>8 決まったことの確認</p> <p>9 ふりかえり</p> <p>10 先生の話</p> <p>11 終わりの言葉</p>	<p>○よかった点や課題点、前回の学級会から改善できた点などを自己評価できるようにする。</p> <p>○進行してくれた計画委員をねぎらい、今回の学級会のよかった点と課題を提示し、次回への意欲へつなげる。</p>

6 事後の活動

月 日	活動の内容	○指導上の留意点 ◎目指す児童の像 【 】評価方法
10月7日(木) ～10月13日(木)	準備	○係は必ず複数名で担当し、協力して活動できるようにし、活動の状況を適時報告しながら活動意欲の継続を図る。
10月14日(木) 2時間目 10月18日(月) 6校時	リハーサル 実践	○リハーサルを通して、改善点や不明確な点を明らかにどうすればよいかその場で話し合うことができるように時間を設ける。 ◎合意形成したことをもとにみんなで協力し、進んでクラスオリンピックの準備に取り組んでいる。(主体的に取り組む態度)【観察】 ◎クラスオリンピックの目的を考え、めあてを意識しながら友達と協力して実践している。(思考・判断・表現)【観察・感想文】
帰りの会	振り返り	○自分の態度を振り返るとともに、友達のよいところについても認められるよう助言する。

7 板書
正面黒板

 まとめる	比べ合う	出し合う
---	------	------

 まとめる	比べ合う	出し合う
---	------	------

◎はく手たい
 おうえんだん
 「がんばったね」と声をかける
 フェイスタオルをふる
 ポンポン
 うちわ(絵)

◎ミニキャラ
 おうだんまく

◎マスコット

◎いろいろなメダル

オリンピックらしい

話し合うこと2
 ルール工夫

話し合うこと1
 ◎10m動物走
 気配ぎり
 ボールの当て
 紙飛行機
 ◎しっぽとり
 ボッチャ
 ◎ペットボトルボウリング
 おり返しハイハイ

議題
 一人一人がキラキラするクラス
 オリンピックをしよう

きょうぎ

第六回 学級会

小黒板

 まとめる	比べ合う	出し合う
---	------	------

感想
 終わりの言葉

始めの言葉
 ルール説明↑ルールを考えた人が説明する
 メダルをわたす↑メダルを作った人がわたす

メダル
 マスコット
 ・しっぽとり
 ・ペットボトルボウリング

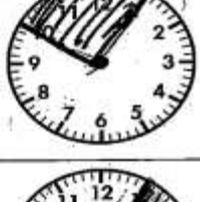
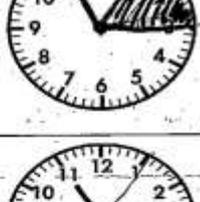
話し合うこと3
 役わり

前日まで
 ルールを考える
 ・10m動物走
 ・しっぽとり
 ・ペットボトルボウリング

当日
 司会

第6回 学級会ノート 司会グループノート

令和3年10月6日(水) 10:35~11:20 名前()

議題	一人一人がキラキラするクラスオリビックをしよう。	
提案理由 出した人	三年一組はこれまでたくさん集会をしてきました。その中で自分たちで楽しみをしてきた人の思い出が、また、 と、クラスの思い出をくつため、クラスオリビックをしようと思いは、オリビックを一人一人が活躍する場面を、 みんながえがくことになること、クラスの思い出がまたできると思いました。	
めあて	一人一人がババヤキ、3年1組らしいオリビックになるような内容や工夫を考えよう。	
やくわり	司会 ①()さん 司会 ②()さん 黒板 ①()さん 黒板 ②()さん ノート()さん	
決まっ ている こと	やる日:10月18日(月)6時間目 場所:体いく館 きょうぎは個人せん きょうぎは3つで、自分がやりたいきょうぎに1回エントリーする。 みづにならないようなきょうぎをやる。大きな声やはげしい運動はしない。	
はなしあいのながれ	きをつけること	
はじめのことば 司会グループの紹介 議題 提案理由 めあて 決まっていること	大きな声で いう。 自分のめあて() さんが紙しほりて発表する。	
きめること1 【何のきょうぎをやるか】	意見を (出し合う・くらべる) ところから はじめる。 きめるときは、タタカ、たりがて、きめよ	
きめること2 【オ工夫】	意見を (出し合う・くらべる) ところから はじめる。 みんなのいいかをかんたんにまとめる。 で、たいいかんをオリビックと見ているにわたる。	
きめること3 【やくわり】	意見を (出し合う・くらべる) ところから はじめる。 時間がわりい場合は、分担任を明日決める	
きまったことの確認 ふりかえり 先生の話 おわりのことば	ノートの()さんに 発表してもらおう。 ふりかえりの時間は (2) 分	
ふりかえり ◎○△	①はなしあいのじゅんぴができた。() ②みんなではなしあいをすすめることができた。() ③じぶんのしごとがしっかりできた。()	
感想		